

構造関係提出書類及び工事監理報告提出書類

1. 工程報告・工事監理報告の必要な建築物

次の表に示す建築物のほか、建築主事が特に必要として提出を指示した建築物が対象となります

	対象用途	規模等	
(1)	○劇場 ○映画館 ○演芸場	・当該用途(100㎡超)が地階又は3階以上の階にある ・当該用途の床面積(客部分)が200㎡以上 ・主階が1階にない場合	
(2)	○観覧場(屋外観覧場は除く。) ○公会堂 ○集会場	・当該用途(100㎡超)が地階又は3階以上の階にある ・当該用途の床面積(客部分)が200㎡以上	
(3)	○病院、診療場(患者の収容施設があるものに限る。) ○旅館、ホテル ○共同住宅(サービス付き高齢者向け住宅に限る。) ○寄宿舎(サービス付き高齢者向け住宅、認知症高齢者グループホーム、障害者グループホームに限る。) ○就寝用途の児童福祉施設等※2	・当該用途(100㎡超)が地階又は3階以上の階にある ・2階にある当該用途の床面積が300㎡以上※3	
(4) ※4	○体育館 ○博物館 ○美術館 ○図書館	○ボートリング場 ○スキー場 ○スケート場 ○水泳場 ○スポーツの練習場	・当該用途(100㎡超の部分)が3階以上の階にある ・当該用途の床面積が2,000㎡以上
(5)	○百貨店 ○マーケット ○展示場 ○キャバレー ○カフェ ○ナイトクラブ ○バー ○ダンスホール	○遊技場 ○公衆浴場 ○待合 ○料理店 ○飲食店 ○物品販売業を営む店舗(床面積が10㎡以内のものを除く。)	・当該用途(100㎡超)が地階又は3階以上の階にある ・2階にある当該用途の床面積が500㎡以上 ・当該用途の床面積が3,000㎡以上

※1 避難階以外の階を次に掲げる用途に供するもの。

※2 助産施設、乳児院、障害児入所施設、助産所、盲導犬訓練施設、救護施設、更生施設、老人短期入所施設(小規模多機能型居宅介護の事業所、看護小規模多機能型居宅介護の事業所を含む。)宿泊サービスを提供する老人デイサービスセンター、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、母子保健施設、障害者支援施設、福祉ホーム、障害福祉サービス(自立訓練又は就労移行支援を行う事業に限る。)を行う事業所

※3 病院、有床診療所については、2階の部分に患者の収容施設がある場合に限る。

※4 学校に附属する物を除く。

2. 提出書類

1. に示す建築物について、構造に応じて、以下の書類を提出してください。

■提出部数：1部

※書類が提出されない場合、合格証や検査済証が発行されない場合があるので、ご注意ください。

- 様 式：表中の●工事工程報告書（第6号様式：p.4）
 ●工事監理報告書（第7号様式：p.5～8）
 ○指定書式がないもの

提出書類	構造※1	RC/PC		S	SRC		W	提出時期
	規模等※2	①	②		①	②		
コンクリート工事施工計画書		-	○	-	-	○	-	着工前
鉄骨工事施工計画書		-	-	※3		-		
杭打ち工事施工計画書		○	○	○	○	○	○	
コンクリート配合計画書		○	○	○	○	○	-	
工事工程報告書		●	●	●	●	●	●	工事中 (工程に達する3日前)
工事監理報告書		●	●	●	●	●	●	中間検査 及び 完了検査の申請前
主要構造部工事写真※4		○	○	○	○	○	○	
コンクリート圧縮強度試験成績表※4		○	○	○	○	○	-	
鉄筋製品検査証明書※4		○	○	○	○	○	-	
鉄骨材製品検査証明書※4		-	-	○	○	○	-	
鉄骨工事施工結果報告書※4		-	-	○	○	○	-	
超音波探傷試験成績表※4		-	-	※3		-		
塩分測定記録報告書※4		-	○	-	-	○	-	
その他指示されたもの(指定工程等)		○	○	○	○	○	○	

※1 型式適合認定された建築物を除く
構造を併用している建築物にあつては、それぞれの構造部分において適用する

※2 ①：4階以下かつ、延べ床面積2000㎡以下のもの

②：5階以上又は、延べ床面積2000㎡を超えるもの

※3 3階以上かつ、床面積500㎡以上の場合に提出するもの

※4 「主要構造部工事写真」以下の書類は原則返却します

3. 工程報告について

次の表に掲げる建築物の工事が、同表に掲げる工程又は建築主事が別に指定する工程に達するときは、当該建築物の工事監理者は、その工程に達する日の3日前までに当該工事状況について、建築主事に工程報告書を提出してください。

■提出部数：1部

■様式：第6号様式

構造上の種類	報告しなければならない工程
木造の建築物	1 建方を終わり、筋かい、火打材その他斜材を入れ、金物の緊結を終わるとき。 2 防火構造の界壁又は隔壁の下地の工事を終わるとき。
補強コンクリートブロック造の建築物	1 基礎の配筋を終わるとき。 2 ブロック積みを始めるとき。 3 各階の臥梁若しくは床又は屋根版の配筋を終わるとき。
鉄骨造の建築物	1 基礎のくい打ちを始めるとき。 2 基礎の配筋を終わるとき。 3 鉄骨の現場溶接を始めるとき。 4 鉄骨の現場ボルトの締めつけを始めるとき。
鉄筋コンクリート造の建築物	1 基礎のくい打ちを始めるとき。 2 基礎の配筋を終わるとき。 3 地中はりの配筋を終わるとき。 4 各階の床又は屋根版の配筋を終わるとき。
鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物	1 基礎のくい打ちを始めるとき。 2 基礎の配筋を終わるとき。 3 地中はりの配筋を終わるとき。 4 鉄骨の現場溶接を始めるとき。 5 鉄骨の現場ボルトの締めつけを始めるとき。 6 各階の床又は屋根版の配筋を終わるとき。

※ 各構造を併用している建築物にあつては、それぞれの構造部分によることとします。

受付欄

工 程 報 告 書

年 月 日

(あて先) 鎌倉市建築主事

住所.....
 工事監理者
 (工事施工者)
 氏名.....

次のとおり工程に達するので報告します。

確認年月日及び番号	年 月 日 第 号
敷地の地名、地番	鎌倉市
建築物の用途	
工事の種類別	
工程に達する日	年 月 日

工 程 の 要 旨

上記のとおり確認しました。				供 覧	
建築主事(課長等)	建築主事(係長等)	係	担当		
				閱 了	

(注) 太枠の枠内のみ必要事項を記入してください。
 建指-42 A4 再

受付欄

工 事 監 理 報 告 書

(あて先) 鎌倉市建築主事 工事監理者()建築士 ()登録 号 ()建築士事務所()登録 号 建築士事務所名 住所..... 氏名.....印 工事施工者 建設業の許可〔大臣・知事〕 第 号 住所..... 氏名.....印	年 月 日
次のとおり報告します。	

確認年月日及び番号	年 月 日 第 号												
建築主住所・氏名													
建築場所	鎌倉市												
建築物名称													
工事期間	年 月 日～ 年 月 日												
建築物の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主要用途</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">工事種別</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td style="text-align: center;">㎡</td> <td>延べ面積</td> <td style="text-align: center;">㎡</td> </tr> <tr> <td>構造規模</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">造 地上 階、地下 階</td> </tr> </table>	主要用途		工事種別		建築面積	㎡	延べ面積	㎡	構造規模	造 地上 階、地下 階		
	主要用途		工事種別										
	建築面積	㎡	延べ面積	㎡									
構造規模	造 地上 階、地下 階												
報告事項	別紙の通り												
上記のとおり確認しました。													
建築主事(課長等)	建築主事(係長等)	係	担当	供 覧									
				関 了									

(注) 太枠の枠内のみ必要事項を記入し、該当する項目は○で囲んでください。

1 特殊基礎(杭等)工事

特殊基礎 施工業者	住 所							
	会社名							
杭等の種別	<input type="checkbox"/> 打込み杭 <input type="checkbox"/> 埋込み杭 <input type="checkbox"/> 場所打ち杭 <input type="checkbox"/> その他							
工法の名称 及び概要	Tel							
使用機械名								
施 工 状 況	設 計				施 工			
	杭径	設計耐力	杭長	本数	杭径	設計耐力	杭長	本数
	変更の状況		有・無					
現 場 検 査	杭耐力の確認又は支 持層到達の確認方法						検査年月日	
							. .	
手 直 し 事 項 (偏心による補強を 含む)							手直し完了 年 月 日	
							. .	
考 察								

2 鉄骨工事

工場	社 名					
	所在地					
工場	工場長名					
	TEL					
工事概要	規 模	敷地面積	m ²	建築面積	m ²	
		延べ面積	m ²	変電容量	KVA	
	大臣認定工場	全構連(H・M・R) 鉄建協(S・HA・MB・RC)				
	神奈川県登録工場	登録 S・H 年 月 日(A・B)				
	溶接監理技術者	名				
	溶 接 工	有資格者 JIS 名	WES、その他		名	
	溶 接 機 械	溶接機 A 交流	A	台	直流	A 台
		溶接機 B 自動		台	半自動	台
		自動ガス切断機				台
		溶接棒乾燥機				台
その他 ()						
非破壊検査器	有 (名称 台) ・ 無					
非破壊検査技術者	有 (氏名) ・ 無					
工場検査		原 寸 検 査	部 材 加 工 組 立	溶 接 (開 先 加 工)	溶 接 (施 工 状 況)	
	検 査 年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	検 査 結 果	合 ・ 否	合 ・ 否	合 ・ 否	合 ・ 否	
	手直し事項					
現場検査		建 方 状 況	高 力 ボ ル ト 締 付	ア ン カ ー ボ ル ト	ブ レ ー ス 端 部	
	検 査 年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	検 査 結 果	合 ・ 否	合 ・ 否	合 ・ 否	合 ・ 否	
	手直し事項					
(手直し完了年月日 ・ ・)						

超音波探傷試験を行った場合は、溶接(施工状況)欄にその結果を記入してください。

3 鉄筋コンクリート工事

配筋検査	検査位置	検査日	検査結果	手直し事項				手直し完了 年 月 日
	基礎	・ ・	合・否					・ ・
		・ ・	合・否					・ ・
		・ ・	合・否					・ ・
		・ ・	合・否					・ ・
		・ ・	合・否					・ ・
		・ ・	合・否					・ ・
		・ ・	合・否					・ ・
		・ ・	合・否					・ ・
打設結果	打設箇所							
	打設年月日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	
	※配合計画番号							
	コンクリートの種類							
	設計基準強度()							
	指定強度()							
	スランプ(cm)							
	生コン工場名							
	試験体採取位置							
	試験体本数							
	4週圧縮強度()							
	試験所名							
※耐久性確保	塩化物測定結果()							
	塩化物測定器名							
	セメント	品名・種別・製造工場	細骨材	産地・種別・塩分量		粗骨材	産地・種別・最大寸法	
	1 塩化物量測定結果について	備考						

※欄はコンクリート工事施工計画書が提出された場合のみ記入してください。